

「とくしま未来創造プラン」 ～徳島からの新たな挑戦～ の取組み状況



平成26年7月
徳島県



H26.4 新採研修
(初の消防学校入校研修)



1 「夢を支える経営体」づくり

(1) 新しい人事・人材システムの推進

◆徳島県職員数の推移 ～3000人体制に向けて～



削減するだけでなく、活かす行革!

◆部局を超えた連携の強化

「課題解決」に向けた新たな体制整備

五つの「統括本部」を設置

食の安全安心対策、対外発信戦略、次世代人材育成、6次産業化、鳥獣被害対策

統括本部長 = 政策監補や関係部長が就任

- ・より一層トップマネジメント機能を発揮
- ・緊喫の全国的な課題を重点解決

◆若者の雇用の場を確保

若者の「夢」と「希望」を徳島で実現

知事部局 新規採用枠	年度	H24	H25	H26	H27
4年連続三桁	人数	106	109	104	110

36歳以下の職員比率
長年減少傾向 H24反転
H23: 20.8% → H26: 21.8%

過去20年
で最大

(2) 組織の最適化、活性化により「創造的実行力」を発揮!

◆女性職員の積極的な登用

・管理職に占める女性割合(全国順位)
H15: 3.1% (32位) → H25: 6.7% (15位)

・女性役付職員(課長補佐以上) **約3倍増**
H15: 42人 → H26: 120人



女性職員の意欲・能力を
より一層県政に活かす

◆人材交流の推進

～国、地域との人的ネットワークを推進～

・国への割愛派遣(国身分)
H15: 2名 → H26: 11名 **5.5倍増**

H26新規割愛派遣
・文部科学省(オリンピック担当)
・消防庁

国の政策決定の場に参画

・県信用保証協会、徳島大学に加え
新たに **県社会福祉事業団** と相互派遣

◆新規採用職員研修の充実

～次世代の県政を担う人材の育成～

H26 新規メニュー

- ・消防学校短期入校
- ・「防災士」資格取得
- ・茶道体験、**都道府県で初**
- ・剣山清掃登山、民泊など



- ・「規律・規範意識」の醸成
- ・地域貢献能力、文化的素養の向上

◆ツウエイ方式による業務改善

～大胆かつ抜本的な業務改善～

徳島発

従来型
ボトムアップ

トップマネジメント型
部局長主導の業務改善

職員一人ひとりの業務棚卸し

- ・危機管理部
「給料日をノー残業デイとし、FCP(家族継続計画)を考える日」に設定
- ・経営戦略部
「この業務やめませう宣言」など

活力みなぎる職場、県民サービスの向上

(3) 全国を先導する時代に即した行革の取組み

◆公共施設のあり方の抜本的な見直し

既存ストック有効活用先進県
として全国をリード

- ・思い切った用途転換
旧空港ビル → 運転免許センター **H26 1月**
- ・民間ノウハウ・資金の積極的活用
青少年センターPFI、県営住宅PFI
- ・長期的な視点に立った施設整備
県立学校耐震化、橋梁長寿命化



更に
進化!

- ・公共施設等の老朽化
- ・人口減少の将来推計
- ・依然続く厳しい財政状況

総合的かつ
計画的な
管理が必要

- ・施設の統廃合をはじめ「あり方」の抜本的見直し
- ・徳島ならではの「総合管理計画」を策定

国はH28年度までの計画策定を全国通知

→ 本県はH26年度中に策定
～県内市町村の取組みを先導～

最適な施設の配置、国土強靱化に!

◆テレワークの推進

H26 徳島発「テレワーク推進事業」

H25～災害時の公金安定
供給実証実験



自宅から公金支払業務

進化



県庁版サテライトオフィス
(出張先庁舎内に勤務スペース確保)



モバイルワーク
(現場でタブレット活用)

災害対応、
ワークライフ
バランスの実現

～新次元の実証実験～
3本柱

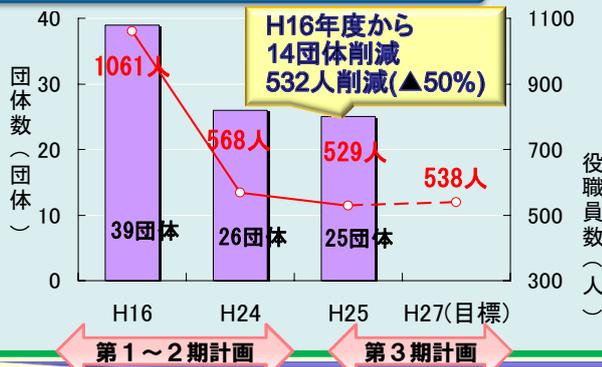


職場復帰支援
(育休中の職員に対して、
職場復帰に向けた環境整備)

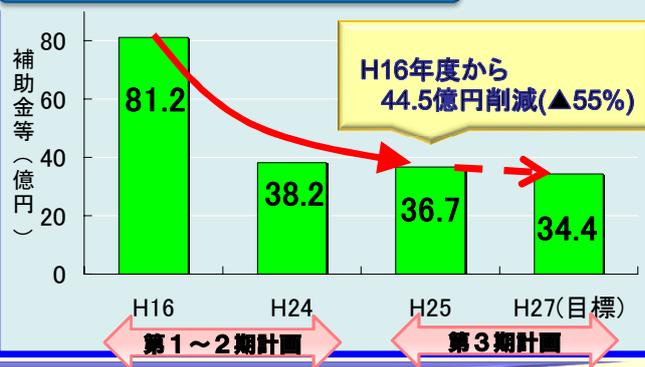
(4) 効率的な行政サービスを目指して

◆ 外郭団体の見直しに係るこれまでの成果

団体数と役員・職員数の推移



県からの補助金等の推移



大幅な「経営のスリム化」を実現し、更なる経営の健全化を推進!

◆ 指定管理者制度の推進

～民間事業者のノウハウを活用～

○提供サービスの充実

- ・利用料金引き下げ
- ・施設の利用時間延長など

○行政コストの縮減

- ・H18年度から約61億円縮減効果

新たに PFIによる24時間 365日対応
「県営住宅3団地」に導入

高齢者の
安全・防犯サポートなど
サービス充実

指定管理者 徳島県営住宅PFI(株)
指定期間 H26.8.1～H46.3.31

指定管理
45施設に!

うち23施設は
今夏、次期の
指定管理者
を募集

2 未来志向の財政構造づくり

(1) 財政構造改革への取り組み状況

①これまでの取り組み成果(H23～25)

◇「財政中期展望」における「収支不足額」の解消

目標: H23からH25までの間に130億円

▶ 成果: 164億円の収支を改善

◇「公債費」の縮減

※一般会計決算ベース、臨時財政対策債を除く

目標: H21 806億円 → H26までに600億円台

▶ 成果: H26当初で651億円

◇「財政調整的基金」残高の充実

目標: H21末 80億円 → H26末までに321億円

▶ 成果: H25末で326億円

②新しい財政構造改革基本方針(H26～28)の改革目標

◇「起債許可団体」からの脱却

実質公債費比率: H25 20.8%

→ H28までに 18.0%未満

◇「公債費」・「県債残高」の縮減

※一般会計決算ベース、臨時財政対策債を除く

公債費 : H24 736億円

→ H28までに500億円台

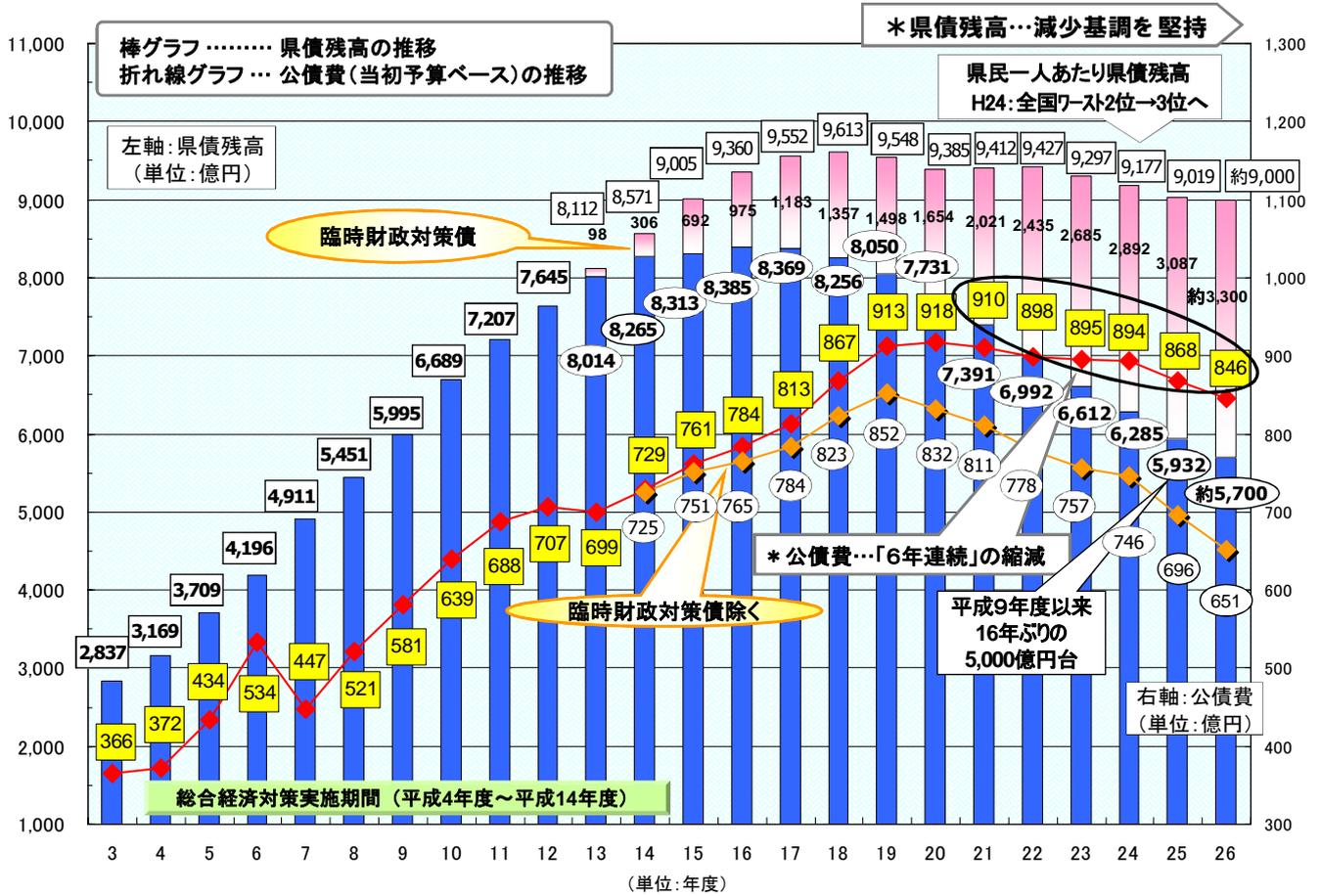
県債残高: H24 6,285億円

→ H28までに5,500億円台

◇「財政調整的基金」残高の充実

財政調整的基金残高: H24末 250億円 → H28末までに600億円

(2) 県債残高と公債費の推移



(3) 新たな歳入確保

◆ 広告事業

広告料収入 (3か年累計)
H19～H21: 約1.3億円
⇒ H23～H25: 約2.5億円

倍増水準に
到達!

新たな広告

スポンサー型広告の充実



H26
新規

県庁受付案内員の制服
・県立図書館(雑誌購入代金)
・道路照明灯(電力料金負担)
など
物品等提供者をPR

◆ ふるさと納税

累計約2億1,600万円



これまでの寄附金総額
H25 約4,300万円
(全国9位)

地元プロスポーツ支援を
活用メニューに追加
更なるPRを!

◆ 未利用財産の有効活用

庁舎空きスペースの貸付(公募)

- ・吉野川庁舎 237㎡ ⇒ 吉野川市社協へ
- ・阿南庁舎 18㎡ ⇒ 阿南青年会議所へ

H26
7月～ 美波庁舎 187㎡を民間コールセンターへ

(4) 更なる歳出改革の推進

◆ エネルギーコストの縮減

- ・庁舎電力調達の入札制導入(6合同庁舎)
「新電力」が供給
年間△370万円(見込み) H26
1月～
- ・県有施設の省エネルギー化
水銀ランプ、白熱電球(本庁舎)
H26.3月 100%LEDに! 1年前倒し



◆ 歳出の中から歳入を生み出す

- H24 国の追加経済対策に呼応した結果
「地域の元気臨時交付金」
(公共事業地方負担の約8割交付)
- H25 130億円(全額基金積み立て)
- H26 公共事業予算を確保
(前年度比7.5%増) 伸び率
国の約4倍

3 「新しい公共サービスの仕組み」づくり ～連携・協働～

(1) 徳島発！経済成長戦略モデル

◆ 地域商品券事業の全県展開

～消費税増税による景気の腰折れを回避～

プレミアム付き地域商品券事業

1万円で千円券×11枚
(地域限定6枚、全県共通5枚) **10%お得**



商工団体、市町村と連携、
県下全域で実施！
総額**33億円** **6月26日**
完売！

4月の平均消費性向
全国トップ **徳島市 134.9%**
(全国平均 88.4%)

可処分所得における
消費支出割合

さらに
地域内消費の定着化、頑張る地域を重点支援

「地域de買い物」定着促進事業

H26
6月補正

地域経済の好循環につなげる

◆ 海外市場・販路開拓の推進

農林水産物等輸出促進ネットワーク

サポートセンター 農畜水産物等輸出促進
県産材輸出促進

新規契約
約50件
・米
・ゆず果汁
・水産加工品
・ひのき など

東アジアから東南アジアへの本格展開

現地での
フェア、商談会で売り込み！

H26 香港、台湾、中国
シンガポール、タイ、ベトナム

さらに
・EU向け柑橘類
・イスラム市場向け
ハラール対応も！

H26.6月補正

◆ 地域情報化の推進

全県CATV網

～4K実証するなら徳島で～

着々と本県に集まる
クリエイティブ企業・人材
映像・デザイン・ICT関連など

とくしま4Kフォーラム2014 **H26.6月**

同時実施 W杯サッカー中継
8K実証 (NHK)
国内4か所(東京、横浜、大阪、徳島)

全国で唯一
4K,8Kを
一度に体感！

・産業集積と人材集積の好循環を創出
・進化する「サテライトオフィス」

(2) 徳島発！安全安心実現モデル①

◆ 南海トラフ巨大地震を迎え撃つ戦略的な防災・減災対策

「南海トラフ巨大地震」
今後30年以内 M8～9
発生確率 **70%程度**

本県の被害想定(県人口に占める割合)

避難者数 **362,600人(46%)** 甚大な
死者数 **31,300人(4%)** 被害予想

早期制定を政策提言

- ・南海トラフ特別措置法
- ・国土強靱化基本法

津波避難対策特別強化地域
沿岸8市町全て指定

国土強靱化
地域計画
地域計画
モデル団体に決定

戦略的災害医療 プロジェクト

心のケア

・「DPAT」先遣隊創設 **H26**
8月

・モデル地域での
実証実験
(木屋平・阿部・四方原)

つなぎ目ない医療提供
防ぎ得た災害死をなくす！

◆ 陸ごう自動閉鎖の実証実験

H26
5月～

- ・津波浸水時に浮力により自動閉鎖
- ・津波の到達時間が短く、
閉鎖作業が困難な箇所に順次活用



県：実証フィールド提供
民間：新技術提案、実証実験

公共施設の設置
では全国初

◆ 地域防災リーダーの育成

- ・シルバー大学校大学院での防災講座 **H25～**
徳島大学と連携し
「地域防災推進員」養成 → 「防災士」増へ！

- ・未来の消防団づくり

国主催の交流大会を
政策提言

少年消防クラブ交流会
(全国大会)



全国初

H26.8月開催

(3) 徳島発！安全安心実現モデル②

◆ 県4病院体制の充実強化

三好病院

《 総合MZ西部センター 》

- ・ 免震構造の「高層棟」完成へ
緩和ケア病棟 リニアック

H26.8月
開院



四国中央部の
中核拠点へ

海部病院

《 総合MZ南部センター 》

- ・ 巨大地震を迎え撃つ
先端災害医療拠点
(高台移転)



中央病院を核
とした連携強化

地方独立行政法人 徳島県鳴門病院

- ・ 県北部の救急医療・災害医療の拠点
手の外科センター(県北部をはじめ広域的に受入)
- ・ 産学官連携 糖尿病検診メニューを技術移転

中央病院《 総合メディカルゾーン本部 》

H26導入
予定

- ・ 急性期病院としての高い評価
DPC II 群(大学病院に準じる)中
質の評価で「自治体病院1位」
- ・ 高度先進医療の充実
(リニアック、PET-CT)



ダヴィンチ
(手術支援ロボット)

◆ 障がい者が活躍できる場の拡大

障がい者による高齢者生活支援(箸蔵モデル)

- ・ 買い物支援、見守りを実施

障がい者

- ・ 工賃アップ
- ・ 社会貢献

高齢者

- ・ 利便性向上
- ・ 暮らしの安心



H25～ 三好市箸蔵地区で実施

全県展開

H26.5月 県東部地域、南部地域でも新たに実施

◆ 発達障がい者支援「徳島モデル」の進化

H24 小松島市に
発達障がい者総合
支援ゾーン整備

県西部からの
利用者数
H23→H25 6.5倍
全県的な
体制強化が必要

ハナミズキ・
西部サテライト

H27
開設予定

旧美馬商業高校
研修会館を活用

池田支援学校美馬分校

西部テクノスクール

地元医療機関

福祉・教育・医療・就労「四位一体」の総合支援

(4) 徳島発！宝の島実現モデル

◆ 輝く“阿波おんな”活躍の推進

～女性活躍元年の幕開け～

全国のトップランナー

- ・ 県審議会等の委員 **全国1位**
 - ・ 労働者に占める女性の割合
- | | |
|-----------|-------|
| 管理職に占める割合 | 17.4% |
| 起業家に占める割合 | 15.2% |
| 働く人に占める割合 | 45.2% |

全国
トップテン

更に
推進

H26.2月
設置

働く女性応援ネットワーク会議

- 多様な働き方 → 短時間勤務等の活用を検討
- 女性のキャリアアップ → セミナー開催(創業・能力向上)
- ワーク・ライフ・バランス → 働きやすい環境づくりを促進

H26 女性活躍推進フォーラム

- ・ 女性の活躍をサポートする意識の醸成
- ・ 防災、街づくり等女性の地域参画を促進



輝く女性の活躍を支援

◆ 「Tokushima 英語村」プロジェクト

～「生きた英語」を学ぶために～

H26
8月

牟岐町で疑似留学体験

県、牟岐町、地元協議会等からなる
実行委員会方式により運営

- ・ 英語に囲まれた環境で
「普段使いの英語」を体験
- ・ 世界に通用する
「幅広い教養」を体感



牟岐少年自然の家

経済・社会のグローバル化への対応

◆ 6次産業化キャリアアップシステム

- 徳島大学との連携

- ・ 農工商連携センターの設置
- ・ 副学長(地域連携担当)に部長経験者を派遣

新たな学部
創設に期待

- 高校における人材育成

- ・ 吉野川高校「食ビジネス科」農商連携
- H26 つるぎ高校「地域ビジネス科」工商連携

- 農林水産総合技術支援センターの取組み

- ・ 農大の専修学校化 → 徳大への編入も
- ・ アグリビジネススクール(大学院機能)

新たな産業人材の育成を支援

4 「県民目線の県政」づくり ～新たな実証フィールド「徳島モデル」を発信～

◆ 高齢者見守りネットワークの充実

～官民一体となった「見守り体制」～

西日本初

地域包括ケア推進会議

H26.7月
立ちあげ

推進エンジン

地域包括ケアシステム
「徳島モデル」構築

認知症対応では

認知症による
行方不明者
全国1万人超！



徘徊の未然防止

「認知症サポーター」の
更なる養成により
見守り体制を県内全域に！

早期発見

広域的な連携体制の構築

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現！

◆ 剣山山頂「あわエコトイレ」の整備

課題

山頂トイレの老朽化とオーバーユース
周辺の自然植生への二次被害懸念

処方箋

環境配慮型の「安全・快適」なトイレ
剣山の自然環境を次の世代へ

最新のトイレ技術

- ・水の再生循環
- ・バイオ技術の活用
(土壌処理・かき殻処理)

登山者の安全・安心

- ・ヘリポートの整備
(資材運搬用施設の有効活用)
- ・AEDや携帯酸素の常備



自然エネルギーの活用

- ・太陽光 + 蓄電池
- ・LED照明
- ・緊急時の予備電力

剣山国定公園指定50周年

50年先を見越した
「あわエコトイレ」

「県民の夢や希望の実現」に向けて
「とくしま未来創造プラン」
～徳島からの新たな挑戦～



瀬戸内海国立公園
指定80周年



「徳島発！テレワーク実証実験」の推進

～「危機事象時の業務継続」及び「ワーク・ライフ・バランス」に向けて～

H25～ 災害時の公金安定供給
実証実験



自宅から公金支払業務

H26～ 徳島発「テレワーク推進事業」
～新次元の3本柱～



モバイルワーク
(業務現場でタブレット活用)



より災害に強く、情報漏洩の心配がない
「新たなセキュリティ環境」を整備



育休からの職場復帰支援
(育休中の職員に対して、職場復帰に向けた環境整備)



県庁版サテライトオフィス
(出張先庁舎内に勤務スペース確保)

◆ 「徳島発！テレワーク実証実験」に係る行程表		平成25年度	平成26年度	平成27年度以降
先行事業	災害時テレワーク実証実験事業 (公金安定供給システム)		● H25.10～ 実証実験スタート ● H26.6～ マニュアル作成	
テレワーク推進事業	①モバイルワーク社会実験 ・iPad50台		端末配布業務選定委員会開催 ※庁内公募により対象業務を選定	実証実験スタート (活用事例) ・企業誘致のためのプレゼン ・農林水産現場における経営支援
	②県庁版サテライトオフィス実証実験 ・PC10台 ・県本庁舎内会議室に設置		WG設置開催 ※設置機器・場所 運用ルール等を検討	実証実験スタート (活用事例) ・県本庁舎での会議後の報告書作成 ・予算、議会関係資料の作成
	③育休からの職場復帰支援実証実験		WG設置開催 ※情報提供内容 提供方法等を検討	育休中職員に対する情報提供スタート (提供情報の内容) ・「子育て情報」や「各種休暇制度」等の情報を提供
	セキュリティ環境整備		全庁的なセキュリティの確保・災害対策強化に向けてシステム整備	

実証実験の
成果を踏まえ、
更なる展開！